

報告日 令和7年12月1日
報告回次 2回目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	裾野市			代表者名	市長 村田悠
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	情報システム課	連絡先電話番号	055-995-1805
担当者役職	主査	担当者氏名	眞田洋明	連絡先E-mail	
住所	410-1192 静岡県裾野市佐野1059番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	連絡先部署
担当者氏名	連絡先電話番号

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	デジタルツールの活用
概要	デジタルツールの活用の加速化のため、Microsoft365の具体的な活用方法を実務レベルでご支援いただき、またその活用の先に得られるDXについて、ICTを推進する庁内委員をはじめとした職員にご講演いただくアドバイザー支援を受けたい。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 働き方		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年12月1日	事前打合せ&支援・助言(実地)	9時30分	17時00分	60
				活動時間（分）	390
2-2. 派遣場所	会場名	裾野市役所		最寄駅	JR裾野
	所在地	静岡県裾野市佐野1059番地		最寄駅からの交通手段	徒歩5分

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	中村 祥子
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったです等詳細に）	午前中の職員研修では、具体的なデジタルツールの使い方の説明をもとに、実際の業務の効率化の実感につながるような研修による支援をいただいた。午後はデジタル部の抱える問題点の共有から、MS365のパラメータの設定の仕方から、アプリの作成手順まで、実際の環境で説明を受けることで、内製でツールを運用する手法の基礎的な部分がクリアになった。
アドバイザーへの要望事項	本日の投影資料のご提供を依頼し、ご恵与いただけた。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】			合計人数	38人
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
		人数	38	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	MS365の導入からすでに1年以上たっている中で、活用が進まない理由として、旧態依然の運用方法で「困っていない」とことから運用を変えることの必然性を理解できないことが挙げられる。またこの状況はMS365だけでなく各種デジタルツールの活用に共通して持つべき観点であるため、人材育成の面からも是正していきたい。
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	既存のデジタルツールでの運用に対する慣れや、改革の手間に対する変革へのアレルギーを払しょくできるようにすることで、職員が自発的にデジタルツールを活用してDXが推進する組織を目指したい。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	以下の観点を重点にご支援いただいた。 ・組織としてのルールができていないまま使えるツールがあっても運用になりにくい。 ・チェンジマネジメントとADKARモデルの考え方
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	これまで裾野市が改革において取り組んでいた内容と合致する考え方として「チェンジマネジメント」を例示していただき、フレームとして整理することができた。変革時の運用方法としてチェンジマネジメントの考え方で再度整理することで、実効性のある組織体制への改善が期待できる。また、具体的なMS365の使い方では、自由なアイデアの許容と、コミュニケーションにより業務改善の加速の可能性が示されたことから、まずは職員間のスタンプのコミュニケーションなどから始めていく。
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑦その他 MS365の活用方法としての研修であったため、研修後、学習したことを実践する職員が複数確認でています。Teamsでのコミュニケーションにおける編集可能なLoopについては多くの職員がアンケートでも反応しており、わかりやすい改善効果（ディスカッションの時短）を実感できるツールの使い方として既に使い始めている職員がいることは、即効性のある成果であると評価します。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	自動化処理を進めることで職員の業務負荷の軽減が加速することが示されました。実際にこれまで裾野市で利用している職員がおらず、本日のアドバイスだけではハンズオン仕切れなかった。3日目のフォローアップに向け内部学習（PowerAutomateやPowerAppsを利用した勤怠管理等の実運用を目指した構築）を深めます。
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 ツールの起動が遅いシーンなどがあり、その結果一部厳しい回答もありますが、10点満点の満足度としては平均7.8点と満足度が高く、NPSとしても13ポイントとプラス評価になっています。使いこなしている職員からは緩慢さを感じられたり、全く触れていない職員からすると想像できなかったりする内容であることがうかがえますが、一方で、実務的な支援だった現れと評価できます。
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい ②次年度に予算化を図り推進する デジタルツールの運用拡大により、職員負荷の軽減や、住民サービスの向上をより実感できる、ボリュームの多い処理において成果出すことが求められるため、3日目の支援に向けて、利用する職員の声を拾い上げながらMS365の運用の拡大を進めていく。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	・MS365の活用拡大により二重投資とみられる旧システムの廃止を実施する。 ・デジタルツールの活用により業務負荷の軽減を享受できる状態にする ・新しい取り組み（変革）が面倒な作業だけでなく、職場環境の改善につながる体験を職員がし、継続的な改善サイクルが生み出せる組織体制へつなげていく。 (1日目回答に同じ)

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 ○掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

